

【必修領域】「教職についての省察、子どもの変化及び教育政策の動向についての理解に関する事項」に関する免許状更新講習 (6時間/1日)

講習の期間	必修講座 (講座番号)	講習の名称 講師 予定者	講習の内容
8月16日(月)		【必修】教育の最新事情 吉原 美那子(地域政策学部准教授) 田口 哲男(経済学部非常勤講師) 木下 まゆみ(経済学部教授) 石川 京子(特定非営利活動法人リンケージ理事長)	教職に関する最新動向の理解を深化させるため、大学内外の専門家が、講義形式で下記の諸項目の解説と資料分析、事例紹介を行う。 ○国の教育政策や世界の教育の動向 ○教員としての子ども観、教育観等についての省察 ○子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見 ○子どもの生活の変化を踏まえた課題

【選択必修領域】「教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項」に関する免許状更新講習 (6時間/1日)

講習の期間	必修講座 (講座番号)	講習の名称 講師 予定者	講習の内容	主な受講対象者(※)
8月17日(火)	S-1	【選択必修】学習指導要領の改訂の動向等と法令改正及び国の審議会の状況等 田口 哲男(経済学部非常勤講師)	教職に関する最新動向の理解を深化させるため、講義形式で下記の諸項目の解説と資料分析、事例紹介を行う。 ○学習指導要領の改訂の動向等 ○法令改正及び国の審議会の状況等	小・中・高等学校教諭
	S-2	【選択必修】教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。) 細井 雅生(地域政策学部教授) 樺澤 徹二(スクールカウンセラー、臨床心理士)	不登校、暴力行為など児童生徒の問題行動の背景のひとつである児童虐待、発達障害等に注目し、その背景の考察を事例等も含めながら検討し、スクール・カウンセリングの活用や家庭との協力等も含め、生徒指導の在り方を考える。	小・中・高等学校教諭
	S-3	【選択必修】教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。))等 吉原 美那子(地域政策学部准教授) 若林 隆久(地域政策学部准教授)	本講座は、学校現場の情報化に関する国内外の動向や情報モラルの概要を学び、情報通信技術(ICT)を活用した授業方法や教材づくり、校務の情報化など、ICTの活用技術を磨くことを目的とする。できるだけ初級者にも分かりやすいように、実践も含めて講義を進めていく。	小・中・高等学校教諭

【選択領域】「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」に関する免許状更新講習 (6時間/1日)

講習の期間	選択講座 (講座番号)	講習の名称 講師 予定者	講習の内容	主な受講対象者(※)
8月18日(水)	A-1	【選択】適応困難と関係する専門機関・施設との連携 細井 雅生(地域政策学部教授) 樺澤 徹二(スクールカウンセラー、臨床心理士)	児童福祉施設に生活する要養護児童、里親委託されている児童等の現状を、児童虐待や発達障害等の問題とも関係づけながら検討し、スクール・カウンセリング、スクール・ソーシャルワーク、児童相談所、発達障害児センター、児童福祉施設など関係専門機関・施設との連携の在り方等を考える。	小・中・高等学校教諭
	A-2	【選択】国際社会と日本 野崎 謙二(経済学部教授) 黒崎 龍悟(経済学部准教授) 王 雪(経済学部講師) 三牧 聖子(経済学部准教授)	現在の国際経済社会情勢はきわめて不安定であり、我々も国際経済社会の変化に対し敏感に情報を集め、適切に対応していかなければなりません。本講義では、国際経済、国際経営、国際政治を専門に研究する4人の講師が、それぞれの視点から現在の国際経済社会の問題点やそれに対応すべき国家、企業のあり方について解説し、我々ひとりひとりが国際情勢の変化にどう対応すべきかを考えるための知識、論点を提供します。	小・中・高等学校教諭
	A-3	【選択】Webページの作成と情報セキュリティ 石田 崇(経済学部准教授)	学校は説明責任を果たすとともに、学校情報を積極的に地域社会に向けて発信していくことが重要である。この講習では情報発信のための有効なツールであるWebシステムのしくみとWebページの作成について学ぶ。インターネットにおける情報処理について理解しながら、学校現場の業務に役立つ技術を身につけることを目標とし実習する。想定する受講者の情報リテラシーは、Windowsの基本操作およびWordによる基本的な文書作成が可能なレベルである。	小・中・高等学校教諭
	A-4	【選択】社会問題解決のための手法を考える 八木橋 慶一(地域政策学部准教授)	本講義では、わが国の社会全体や地域コミュニティの問題(高齢化、貧困、過疎、中心市街地の衰退など)を把握し、それらの解決のために私たちはどのように取り組むべきかを考察します。その際にどのような組織が活躍しているか、全国だけでなく、群馬県内の事例も踏まえて見ていきます。ポイントは、社会貢献活動をいかに事業化するかということです。その点を受講生のみなさんと考えていきたいと思います。	小・中・高等学校教諭
	A-5	【選択】郷土を知ろう(群馬の地理と歴史) 佐藤 英人(地域政策学部教授) 西沢 淳男(地域政策学部教授)	群馬県の自然・社会や歴史について、地理的・歴史的観点から講義を行う。地理的には、新学習指導要領の「地理総合」を想定して、地図と地理情報システムの活用方法、グローバルイシュー、防災対応を中心に検討する。歴史的には、地域史を学ぶ意義を考え、群馬県の地域史を事例に、地域の歴史を見る目を養ってもらふ。本講を通じて、群馬県の時間と空間、グローバルな視点を確立したい。	小学校・中学校(社会)・高等学校(地理)教諭
8月19日(木)	B-1	【選択】質的統合法WSを通して学ぶ教育現場における問題・課題と対応方向 佐藤 彰彦(地域政策学部教授)	質的統合法は、特定のイシューに関連する問題発見や課題整理、さらには、対応策を検討するために用いられる思考整理・合意形成手法のひとつである。近年は、全国各地の地域活性化の現場や医療・看護系分野で導入が進んでいる。本講習では、教育現場の問題・課題を「意見地図」を作成することで共有し、求められる課題解決の方向を探っていく。前半では基礎理論や実施ルール、後半はワークショップを通じたアクティブラーニングを行う。	小・中・高等学校教諭
	B-2	【選択】文章作成技法——作文から小論文へ—— 高松 正毅(経済学部教授)	グループ討議と実習、振り返りと分かち合い等により、文章を書く楽しさを実感する。最終的な到達目標としては意見文や評論文を念頭に置いているが、本講座では作文から小論文への筋道を一日でたどることを目指す。他に、文章表現の「理論」および「教授法」、さらに教師のための「自己鍛錬法」などを含む。講師も全受講者と楽しく学びたい。	小・中・高等学校教諭
	B-3	【選択】統計学の基礎とデータの活用 石田 崇(経済学部准教授)	コンピュータや統計解析ソフトの普及により、個人でも比較的高度な統計処理が行えるようになりました。この講習では統計学の基本的な考え方を理解し、Excelを利用した実習を通してデータの統計処理の基礎を身につけることが目標です。説明には平方根やΣの計算など初歩の数学知識を用います。想定する受講者の情報リテラシーは、Windowsの基本操作が可能であること、Excelの使用経験があることです。	小・中・高等学校教諭
	B-4	【選択】探究力を鍛える「インフォメーション・アナリシス585」 吉田 夏帆(地域政策学部特命助教)	混迷を深める現代の情報洪水社会において、「自分自身で情報を吟味し、真実を掴み取る力」の涵養は喫緊の重要課題と言える。本講義では、実際に大学で行われている分析力や探究力を鍛えるハンズオン講義をアレンジした、「高校生版・インフォメーション・アナリシス585」の実践手法を包み隠さず紹介する。さらに、受講者にもワークショップ形式で同講義を体験してもらうことで、その学びの有用性も体感いただけるよう努める。	小・中・高等学校教諭
	B-5	【選択】教師のための英語発音クリニック 石渡 華奈(経済学部准教授)	児童生徒に英語を教える日本人教師がより英語らしい発音を身につけるための実践講座です。カタカナ英語から脱したい、自信を持って児童生徒に英語で話しかけたい、発音能力を向上させたい、などの目的を想定しています。講座では母音・子音の個々の発音の具体的な方法にとどまらず、リズムやイントネーションなど「英語らしさ」に欠かせない要素や音変化、つづりと発音の規則なども学びます。受講者の発音能力自体は認定に影響しません。	小学校・中学校(英語)・高等学校(英語)教諭
8月20日(金)	C-1	【選択】社会科教育の概観と意義 内山 知一(経済学部准教授)	この講習では、社会科教育を主な領域とし、以下の二点を軸に講義を行います。まず、教科の性質、最近の傾向、現在までの変遷などを相互のかわりも含めてとらえ、全体を概観します。その上で、授業事例の検討などで、授業法の長所・短所を吟味し、その特徴を把握します。	小・中学校(社会)教諭
	C-2	【選択】環境教育の到達点とこれからの展開 飯島 明宏(地域政策学部教授) 片亀 光(地域政策学部非常勤講師)	環境問題が深刻さを増し続けている今日、社会経済の構造を環境に配慮した持続可能なものへと変革していくことが求められており、環境保全に主体的に取り組む能力や態度を育成する環境教育の重要性は高まっている。本講習では、わが国における環境教育の歩みと現時点における課題を分析した上で、学校と地域社会との連携のあり方など、これからの環境教育の展開を考える。	小・中・高等学校教諭
	C-3	【選択】地域文化と民俗 鈴木 耕太郎(地域政策学部講師)	地域活性化のために、現在、「地域文化」を見直し、再評価しようという動きが全国的に広がっています。しかし、そもそも何を「地域文化」といえるのでしょうか？また、地域文化の再評価(ないし保存)と地域の活性化は、必ずつながるものなのでしょうか？本講義では、「地域文化」という観点から、この「群馬」という地域を見つめなおし、地域活性化の方向性についても検討します。最終講義で論述式試験を課します。	小・中・高等学校教諭
	C-4	【選択】実証分析の方法と活用 森田 稔(地域政策学部准教授)	本講義では、「データ」を用いて、物事の因果関係(例えば、理系学部卒業者は文系学部卒業者より生涯年収が高い)を客観的に分析・評価する方法について解説します。また、実際にExcelの「データ分析」機能を用いて、講義内で皆さんと一緒に実証分析を行い、その活用について講義します。	小・中・高等学校教諭
	C-5	【選択】アフリカに暮らす人々の生活—地域の多様性に触れる 中澤 芽衣(地域政策学部特命助教)	日本に暮らす私たちにとって、アフリカは距離的にも、心理的にも遠い地域です。日本のテレビ番組やインターネットでは、アフリカは「貧しい大陸」や「紛争多発地域」のように、負のイメージで語られます。メディアだけでは知ることができない、アフリカの人びとの日常生活を取り上げ、そこに存在する社会や文化の豊かさについて説明します。本講習を通して、地域の多様性や固有性の重要性、異文化理解に関する知見を深めることができます。	小・中・高等学校教諭

※主な受講対象者以外の受講を制限するものではありません。